

## 平成28年度 事業実施状況報告

はじめに

内閣府の平成26年度版高齢社会白書によると、わが国の少子高齢化の要因は大きく分けて、①平均寿命の延伸による65歳以上人口の増加 ②少子化の進行による若年人口の減少の2つであると考えられています。今や14歳以下の「年少人口」は1,600万人余で過去最少を記録し、総人口に占める割合は12.9%。75歳以上の12.3%とほぼ並んでいる現状においては、確実に日本の労働力人口は減少傾向にあります。

少子高齢化が進展する中、わが国の社会経済の活力を維持するためには、できるだけ多くの高齢者が元気で社会の中で活躍、貢献することが必要となりますが、背景には定年退職者等その他の高年齢退職者の能力の積極的な活用を促進せざるを得ない社会情勢にあることから、その仕組みの一つとしてシルバー事業の役割はますます重要になっております。

このような現状にあつて、日野市シルバー人材センターは、自主・自立、共働・共助の理念の下、定時総会をはじめ理事会、班会議等の組織活動で自主的・主体的な活動を展開し、積極的な社会奉仕活動等を含め、地域社会に貢献する公益法人として、一層の自律的な経営に努め、事業を推進しました。

### 1 会員の状況

平成28年度末の会員数は、1,591人で27年度より56人（3.6ポイント）増加しました。年度末における会員数は、平成22年度から26年度までの4年連続して減少しましたが、27年度に増加に転じたのに続いて大幅に増加しました。

平成28年度の就業実人員は、1,321人で27年度より79人増加し、就業率は83.0%（27年度 80.9%）と増加しました。就業実人員については、平成23年以来5年ぶりに1,300人を超えました。

表-1 男女別会員状況

	会員数	構成比	平均年齢	最高年齢	就業実人員	就業率
男	1,151人	72.3%	72.6歳	91歳	939人	81.6%
女	440人	27.7%	70.9歳	85歳	382人	86.8%
計	1,591人	100.0%	72.1歳	—	1,321人	83.0%

表-2 会員数、就業実人員の推移

	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
会員数（人）	1,591	1,535	1,521	1,617	1,618
就業実人員（人）	1,321	1,242	1,222	1,248	1,218
就業率（%）	83.0	80.9	80.3	77.2	75.3

表-3 月別入退会状況と会員数

(単位：人)

月別	入会者			退会者			会員数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4月	56	25	81	11	3	14	1,173	429	1,602
5月	26	25	51	5	4	9	1,194	450	1,644
6月	8	3	11	26	5	31	1,176	448	1,624
7月	16	3	19	3	3	6	1,189	448	1,637
8月	6	3	9	3	2	5	1,192	449	1,641
9月	3	12	15	8	1	9	1,187	460	1,647
10月	31	9	40	7	2	9	1,211	467	1,678
11月	15	14	29	3	1	4	1,223	480	1,703
12月	15	5	20	9	7	16	1,229	478	1,707
1月	3	1	4	14	2	16	1,218	477	1,695
2月	9	1	10	14	11	25	1,213	467	1,680
3月	2	2	4	64	29	93	1,151	440	1,591
合計	190	103	293	167	70	237			

表-4 年齢別入会者状況（入会時）

(単位：人)

	60歳未満	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	計	平均年齢
男	0	22	89	37	31	11	190	69.6歳
女	0	25	45	22	9	2	103	68.1歳
計	0	47	134	59	40	13	293	69.1歳

表-5 退会理由別会員数

(単位：人)

	病気	就職	死亡	転居	希望する仕事がない	就業機会なし	家庭の事情	会費未納	加齢	センター運営への不満	未回答(不明)	その他	合計
男	37	25	8	9	12	8	9	18	15	1	3	22	167
女	10	6	0	4	6	4	14	3	8	0	0	15	70
計	47	31	8	13	18	12	23	21	23	1	3	37	237

表-6 在籍期間会員数

(単位：人)

	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 4年未満	4年以上 6年未満	6年以上 8年未満	8年以上 10年未満	10年以上	合計
男	167	114	174	184	169	84	259	1,151
女	89	63	82	56	58	25	67	440
計	256	177	256	240	227	109	326	1,591

## 2 事業実績

平成28年度の事業実績は、受託件数8,177件で27年度より198件（2.5ポイント）増加、契約金額は、653,359,238円で前年度より17,048,400円（2.7ポイント）増加しました。ただし、派遣事業の契約金額4,486,270円を加えると、総合計は657,845,508円となり、21,534,670円（3.4ポイント）増加しました。

具体的には、公共事業においては、市立中学校の校舎管理や発達支援センター送迎業務などの受注により、21,976千円（11.1ポイント）の大幅な増加となりました。民間事業においては、駐輪場自転車整理業務の時間数削減などの影響があって、企業等の契約金額が、2,406千円（0.8ポイント）の微増にとどまりました。家庭からの仕事は堅調で、4,958千円（4.5ポイント）の増加、中でも家事援助サービスおよびリビングサポートは大幅に伸びました。また、独自事業においては、カルチャー教室や小学生向け学習教室の教室減、さらに、リサイクル事業の不振によって、7,805千円（21.1ポイント）の大幅な減少でした。リサイクル事業は、現在、経営の立直しを進めています。

次に、平成28年度における契約金額の公民比率は、公共事業が219,171,228円で33.5%（前年度31.0%）、民間事業が434,188,010円で66.5%（前年度65.8%）となりました。なお、受注した仕事内容別（職群別）の内訳では、清掃や除草等の一般作業群（46.8%）と学校や市施設等の管理群（19.4%）の2群で全体の3分の2を占めており、ここ数年はこの傾向が続いています。

表-7 事業実績

		平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
就業実人員		1,321人	1,242人	1,222人	1,248人	1,218人
就業率		83.0%	80.9%	80.3%	77.2%	75.3%
就業延べ人員		148,064人	146,698人	135,121人	133,963人	126,183人
受注件数		8,177件	7,979件	7,278件	6,974件	6,680件
契約金額	配分金	581,006,664円	561,514,373円	523,154,518円	500,734,279円	492,056,433円
	材料費	22,490,911円	20,263,732円	18,926,293円	15,845,745円	25,770,759円
	事務費	49,861,663円	54,532,733円	48,155,933円	41,495,923円	43,276,822円
	合計	653,359,238円	636,310,838円	590,236,744円	558,075,947円	561,104,014円
	派遣事業	4,486,270円	—	—	—	—
総合計		657,845,508円	636,310,838円	590,236,744円	558,075,947円	561,104,014円

表-8 契約金額／公共・民間別内訳

（単位：円）

		平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
公共		220,941,909	197,194,631	201,757,536	186,013,039	199,100,558
民間	企業等	293,587,846	292,952,054	247,747,559	235,634,270	233,864,624
	家庭	115,175,085	110,217,910	104,448,669	102,962,251	95,350,643
	独自	28,140,668	35,946,243	36,282,980	33,466,387	32,788,189
	小計	436,903,599	439,116,207	388,479,208	372,062,908	362,003,456
計		657,845,508	636,310,838	590,236,744	558,075,947	561,104,014

表-9 契約金額／職群別内訳

(単位：円)

職群別	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
技 術	12,344,886	17,189,007	16,875,678	13,850,904	12,369,977
技 能	99,847,746	87,433,915	74,824,654	68,957,300	65,307,814
事務整理	78,407,531	83,278,398	78,652,897	74,203,563	80,126,891
管 理	126,643,848	107,308,853	105,441,321	101,178,036	102,300,671
折衝外交	16,805,762	15,110,528	17,157,869	22,011,969	22,117,095
一般作業	307,522,590	316,532,748	286,764,668	269,810,523	271,443,457
サービスほか	16,273,145	9,457,389	10,519,657	8,063,652	7,438,109
計	657,845,508	636,310,838	590,236,744	558,075,947	561,104,014

### 3 事業計画に対する実施状況

#### (1) 就業機会の拡大と会員の増強

##### ①体制強化による就業の拡大

公共事業の就業拡大にあたっては、空き家対策や子育て支援など日野市の抱える諸問題を日野市と連携して解決できる就業の可能性があるか検討しました。結果として、平成29年度より新たにオープンするカワセミハウス管理業務の就業拡大が決まりました。

##### ②派遣事業開始への準備

4月より就業開拓員2名と就業拡大事業担当職員による就業開拓推進チームをスタートさせ、戦略を立てながら市内事業所、個人事業主など合わせて408か所を訪問しました。平成25年度より4年間継続して行った就業先開拓によってセンターの認知度は格段にアップしており、従来は受注困難であった保育などの業務については、7月から派遣事業を前倒しでスタートしたことで、さっそく7件の受注ができ、次年度以降の事業活動に弾みがつきました。

##### ③介護予防・日常生活支援総合事業の実施

日野市と協調して、4月より新たに介護予防・日常生活支援総合事業をスタートさせました。制度改正により当センターも認可を受け、要支援1、要支援2の方々に対するサービスを提供する業務を行っています。スタート間もないため、28年度は7件でしたが、行政サービスの補完という重要な業務として、今後も研修等を重ねて要員の確保、サービスの充実を図って推進します。

##### ④女性会員向け新規事業の開拓

女性委員会と事業委員会において検討を重ね、女性会員の意向等を参考に、広報

物等によるPR、子育てやサロン事業など女性会員の就業機会開拓・拡大について検討しました。結果として、7月からスタートした一般労働者派遣事業において、保育業務、スーパーマーケット業務、商品発送事務、高齢者介護補助などを新規開拓することができました。

#### ⑤職群事業の拡充

職群班を中心に既存事業の拡大や就業における課題解決を継続的に行いました。

特に、手芸品制作販売、パソコン教室、大工仕事、網戸・襖張替、刃物研ぎ、着付け、多肉植物栽培など、比較的小ぶりの事業の育成に取組みました。

また、一人就業の多い清掃作業を会員の自主的運営に移行する取組みを続けており、複数の班組織を形成する方向で合意に達しました。平成29年度を目途に、職群班に移行します。

#### ⑥会員アンケート調査の実施

全会員を対象にした会員アンケート調査を、9年ぶりに実施しました。設問に、通常の選択式のほかに、記述式を併用した意欲的な調査でした。718人の会員から回答を得ました。しかし、記述式設問の回答の集計と分析に、非常に多くの人手を必要としました。集計結果を年度末に、漸く、皆様のお手元にお届けできました。

集計結果から伺えることは、会員の皆様のウォンツ、ニーズ、そして、貴重なご意見です。会員の増強に役立てるために、事業計画ならびに中期計画に生かしていく所存です。

#### ⑦会員の減少防止対策

女性会員の交流を深め、活動の活発化を図るための交流会は、11月にイオンモール多摩平の森ホールで開催。71名（27年と同数）が集まり、アトラクションを含めた内容がとても好評でした。このほか、趣向を凝らした会員および市民向け各種講習会等を次のように開催しました。

○ 多肉植物講習会（6月）	参加者	12人
○ 布ぞうり講習会（7月）	参加者	20人
○ 手作り豆腐講習会（8月）	参加者	17人
○ 講演会『輝くあなたに大変身!』（9月）	参加者	19人
○ 布花コサージュ講習会（10月）	参加者	29人
○ パステル画講習会（2月）	参加者	15人
○ 交流会『早春の郷土の森・ぶらり散歩』（3月）	参加者	9人

このような女性会員の活動状況を紹介したり、各イベントへの参加呼びかけなどを中心に、『女性委員会だより』を3回発行して広く周知しました。

また、女性限定の入会案内説明会を3回（7月、9月、3月。27年度は2回）開催し、合計44名が参加しました。説明会では女性会員による就業体験の発表や参加者をグ

ループに分けて意見交換の場を設けるなど、センターの活動内容をイメージし易く工夫しました。

## (2) 安全第一で適正就業

### ⑧安全かつ適正な就業の推進

会員の就業において、安全はすべてに優先します。27年度に12件（傷害 9件、賠償 3件）発生した事故を、事故ゼロを最終目標と掲げ、活動計画を策定しました。

まず、就業現場安全巡回の方法を改め、2名体制による細かなチェックを行うこととしました。7月の安全就業強化月間に11職場、さらに11月から2月までに11職場の合計22職場を訪問し、安全就業基準による就業の点検と指導等を行いました。

7月の安全就業強化月間に発表する安全標語については、「自転車運転」、「転倒事故防止」、「健康管理、安全就業」をテーマとして、4月に募集しました。合計74点の応募があり、最優秀作1点と優秀作5点を選定して広報誌への掲載等を通じて安全啓発に努めました。

また、27年度中に転倒によって骨折に至る事故が5件発生した事実を受け、9月に初の試みとして「体力測定会」を、安全対策推進員を対象に実施し、68名が参加しました。現状における敏捷性や柔軟性、筋力などを自覚することで事故の未然防止に繋げることが目的です。対象者を広げて次年度以降も継続します。

結果として、28年度は8件（傷害 5件、賠償 3件）の事故発生に止めることができました。今後も事故の検証等を充実させて、さらなる事故発生減少に努めます。

#### ○ 適正就業の推進

昨年の1月に実施された東京労働局の定期調査の結果に沿って、適正就業の徹底を重要課題として捉え、9月に厚生労働省から『シルバー人材センターにおける適正就業のガイドライン』が発表されたことと併せて、現在受託している業務における契約内容を総点検しました。

その結果、日野市からの契約4件、民間事業所からの契約2件について、28年度をもって終了するなど、法令遵守に努めました。

また、新入会員を対象としたセンターの組織や就業体験及び接遇に関する研修を毎月開催。延べ282名（27年度:257名）が受講し、センターにおける就業の認識を深めました。

### ⑨安全意識浸透への取組

就業期限確認書を交付する職場に新たに就業する場合においては、年3回（6月、9月、12月）安全管理委員長による安全講話を行い、就業における事故の未然防止と安全就業への意識向上に努めました。

職群班などにおいては、就業開始前に班長等から工程等を踏まえた安全に関する注意喚起を行い、日々の無事故就業を心掛けるとともに、定例的に開催する会議等において、常に安全就業を意識することに取組みました。

また、現在多発している高齢者による交通事故を重く捉え、6月の定時総会において『高齢者の交通安全』をテーマに、日野警察署による講習会を開催しました。併せて事務局掲示板には、警視庁からの高齢者の交通事故情報を更新しながら通年で掲示し、注意を喚起しました。

### ⑩会員の研修の強化と専門化の推進

28年度は、一般労働者派遣事業や専門技術の向上を目途に、東京しごと財団などが実施する以下の研修等を受講しました。

#### ○就業支援講習・職域拡大技能講習

・包丁研ぎ（11月、3月）	受講者	9人
・植木の剪定（6月、9月）	受講者	3人
・毛筆筆耕（7月、12月）	受講者	4人
・パソコン出張サービス（1月）	受講者	1人
・サービス分野リーダー養成（10月）	受講者	1人
・ステップアップ接遇（3月）	受講者	1人

#### ○高齢者活躍人材育成事業

・自動車運転（11月）	受講者	5人
・生活支援サービス研修（5月～3月）	受講者	7人
・スーパーマーケット業務（10月、3月）	受講者	3人

### (3) 組織・機能の充実強化

#### ⑪今後の発展に向けた広報活動

8月と2月には、カルチャー教室の受講生募集パンフレットに、会員募集や提供可能な事業等を掲載し、全戸に配布しました。

5月に開催した『シルバーいきいき祭り』は、のべ400名の市民の方々が参加。会員獲得と仕事内容のPRチラシを配布し、リサイクル事業を含めたセンター活動を広く紹介しました。また、10月のまちづくり市民フェアに参加し、リサイクル事業と女性会員の活動PRを行いました。

広報媒体としてホームページの役割は、今後ますます重要となり、センター事業をよりスピーディーに、幅広く発信することが求められます。引き続きホームページの内容充実に努めます。

#### ⑫地域社会への貢献

28年度は、以下のとおり地域社会への貢献に取り組みました。

#### ○市内美化活動（一斉清掃）等の実施

公益法人の大きな役割として、市内美化のための清掃を実施しました。

・多摩川・浅川クリーン作戦（4月）	参加者	494人
・全地域班一斉清掃（7月）	参加者	531人

- ・ 全地域班一斉清掃（10月） 参加者 598人
- ・ 歩道清掃（8月） 参加者 11人

### ○社会奉仕活動の推進

地域社会との共生を図るため、社会奉仕活動の積極的な展開に努めました。

- ・ 小学校通学路パトロール（4月～3月） 参加者 982人
- ・ 市立小、中学校あいさつ運動（奇数月 年6回） 参加者 359人
- ・ 東京マラソン会場ボランティア（2月） 参加者 10人

### ○地域交流を推進

自治会や老人会との就業、地域活動についての連携や、市民向け研修会を通じてセンター事業に関する意見を交換するなど、地域の方々との交流推進に努めました。

- ・ 日野市老人クラブ連合会と協議（6月）
- ・ 日野市老人クラブ連合会と共同イベント開催（10月）  
会場：多摩平の森イオンホール
- ・ まちづくり市民フェア2016（10月）  
会場：ふれあいホール

### ⑬会員、理事、事務局との連携強化

センター事業の遂行にあたっては、「共働・共助」の基本理念を具現し、会員として連帯意識を強固にすることによって、会員と理事、事務局が情報を共有し、一体となって運営することが大変重要であり、より一層の緊密な連携強化によって、課題解決を図ってまいりました。労働力人口の減少傾向は顕著であり、今後数年のうちに65歳定年の導入が現実化するのではないかと予測もされております。そのような社会情勢を考えるに、センターにおいては、後期高齢者にあたる方々が、運営の両輪である「組織活動」、「就業活動」において活躍できる環境づくりが急がれます。センターの将来像を的確に捉え、事業の推進を図ります。



#### 4 会議等の開催状況

##### 定時総会

開催年月日	主な内容
第67回 平成28年6月17日（金） 七生公会堂 ホール 会員数 1,659名 出席数 1,177名（委任 900）	1. 平成27年度決算の承認 2. 監事1名の選任

##### 理事会の主な内容

開催年月日	主な内容
第1回 平成28年4月25日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 特別会員の入会承認 3. シルバー派遣事業の実施 4. シルバー人材センター等労働者派遣事業計画 5. シルバー人材センター等労働者派遣事業に係る個人情報 適正管理要綱の制定 6. 職員給与規程の一部改正 7. 監事の選考 8. 事業実施状況報告
第2回 平成28年5月30日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 平成27年度事業報告及び決算 3. 第67回定時総会付議事項 4. 被表彰者の推薦 5. 事業実施状況報告
第3回 平成28年6月27日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 事業実施状況報告
第4回 平成28年7月25日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 事業実施状況報告
第5回 平成28年8月29日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 3. 事業実施状況報告
第6回 平成28年9月26日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 公益社団法人日野市シルバー人材センター理事及び監事 推薦要綱の一部改正 3. 事業実施状況報告

理事会の主な内容

開催年月日	主な内容
第7回 平成28年10月24日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 理事及び監事推薦委員会の設置 3. 平成28年度収支予算の補正（第1号） 4. 事業実施状況等報告
第8回 平成28年11月28日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 事業実施状況等報告
第9回 平成28年12月26日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 表彰規程の一部改正 3. 就業年齢制限の設定に関する要綱の一部改正 4. 事業実施状況等報告
第10回 平成29年1月30日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 理事及び監事推薦委員の変更 3. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 4. 事業実施状況等報告
第11回 平成29年2月27日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 事業実施状況等報告
第12回 平成29年3月27日（月）	1. 正会員の入会承認 2. 委員会設置規程の一部改正 3. 平成28年度収支予算の補正（第2号） 4. 平成29年度事業計画 5. 平成29年度収支予算 6. 資金調達及び設備投資の見込み 7. 事業実施状況等報告

5 事故の発生状況

年度別事故発生件数

	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度
傷害事故	5	9	11	12	6
賠償事故	3	3	2	2	3
計	8	12	13	14	9

### 傷害事故

就業中・途上別	性別	事故の状況	程度
就業中	男	ごみ処理場内で、車の入庫スペースに落ちていたごみを箒で掃いている最中に、ごみピット内に落下、後頭部と背中を打撲。	通院
就業中	男	植栽の作業中、急に気分が悪くなり、気を失った。それに気付いた作業仲間が救急車を手配し、病院に搬送。熱中症。	通院
経路途上	女	就業場所に徒歩で向かう途中、何かにつまづいて転倒した。転倒時両手に荷物を持っていたため、うまく手をつけず、右手指骨折。	通院
就業中	男	特別支援学校の交通安全業務中、転倒した際に後頭部を強打して頭部骨折、頭部内出血。	入院
就業中	男	10尺の脚立に昇って作業した際、誤ってバランスを崩し、2.5m程度の高さから床に落下。両足骨折および頭部内出血。	入院

### 賠償事故

仕事の種類	性別	事故の状況	賠償金額
植木剪定	男	住宅の庭木を伐採した際に、倒す方向を誤って隣接の駐車場に駐車していた車両の上に倒してしまい、傷を付けてしまった。	142,927円
植木剪定	男	庭木の剪定作業の際に、現場に持ち込んだ脚立の足（爪）が通行しようとした車両のタイヤに当たってしまった。	29,510円
除草作業	男	刈払機で草刈作業中、ブルーシートで養生していたが、飛ばした小石を防ぎきれず、車両の右後部ガラスを破損させた。	38,124円